

Our Future

夢と希望が輝く中学校へ

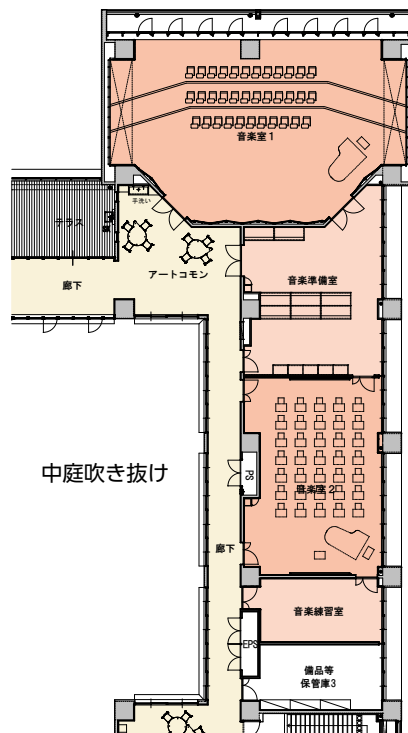
浜岡中学校の新校舎図鑑

vol. 6 音楽室

今回は、音楽室を紹介します。

音楽室は校舎の最上階に配置しました。合唱や演奏をする音楽室1は天井を高くし、階段状にすることで、音楽ホールとして生徒たちが気持ち良く活動できるように配慮しました。また、西側をガラス張りとするので、開放感を作り出しました。演奏した音を録音し、聞き直すことができる設備なども設けています。音楽室2は、音楽鑑賞のための映像や音響の設備を整え、ICT授業への対応もできる教室となっています。さらに合唱や吹奏楽のパート練習などにも利用できる音楽練習室も設け、放課後の活動や個別練習をサポートします。

次回は、特別支援教室について紹介します。



開放的で整った設備の中で、音楽に対する感性を豊かにします。



▲藤井紗希
佐藤工業(株)・建築担当

照会 教育総務課 ☎0537-8733

市では、平成29年3月に「原子力災害広域避難計画」を公表しました。この計画は、浜岡原子力発電所における重大事故の発生に備え、市域を越える広域的な避難に必要なルールや体制などを定めたものです。

原子力災害では、原子力施設の状況に応じて緊急時の対応が3つに区分されています。①御前崎市内で震度6弱以上の大地震が発生した場合の「警戒事態」では、高齢者など避難に時間を必要とする要配慮者が避難準備を開始します。②全交流電源喪失などの「施設敷地緊急事態」では、要配慮者は一般市民よりも前に避難が開始されます。③冷却機能喪失などの「全面緊急事態」では、全市民の避難が開始されます。これらの行動を迅速に行うことがこの計画の目的です。原子力災害発生



▲原子力対策重点区域図

などの実施できるよう、より実効性のある計画にしていけるために、原子力防災訓練などによる検証を含めさらなる検討を進め、避難計画への反映や関連する計画、マニュアルなどを作成していきます。

Atomic

暮らしと原子力

御前崎市原子力災害広域避難計画について①
概要編

市では、平成29年3月に「原子力災害広域避難計画」を公表しました。この計画は、浜岡原子力発電所における重大事故の発生に備え、市域を越える広域的な避難に必要なルールや体制などを定めたものです。

市の避難方法は、おおむね半径5km以内のPAZとUPZで避難方法が異なり、本市は市内全域がPAZ圏内であることから、放射性物質の放出前に全市民の避難が開始されます。市では、避難を迅速・確実に実施できるよう、より実効性のある計画にしていけるために、原子力防災訓練などによる検証を含めさらなる検討を進め、避難計画への反映や関連する計画、マニュアルなどを作成していきます。